

みなさんの素朴な疑問に 現役団員が答えます！



教えてくれたのは
消防団長
やまぐち じゅんいち
山口 純一さん

「消防団員ってどんな活動をしているの?」「誰でもなれるの?」など、よく寄せられる質問に現役の消防団員が答えます。

「私もやってみたい」と興味をそそられた方は、

ぜひ3ページでご紹介している公式ホームページからエントリーしてみてください。



Q 消防団員と消防職員って どう違うの?

消防団員は、会社員や自営業、学生、主婦など本来の仕事などをもちながら、災害が発生した時には消防職員と共に災害救助活動を行う人たちのことです。地域の防災行動力を高めるための初期消火や、応急救護指導などを通して市民の安心・安全を守っています。



学校教育



訓練の様子



Q 知識も経験ありませんが 消防団員になれますか?

現役の消防団員も、知識や経験がないところからスタートしていますので安心してください。年に1度合同新人研修が行われますし、分団ごとの活動を通して先輩方が教えてくれます。

消防団の役割



平常時

- ◎火災から住民を守るための火災予防や広報活動
- ◎地域の防災行動力を高めるための初期消火や応急救護などの指導

災害時

- ◎消防署と連携した消火活動
- ◎住民の救助、救護活動や避難誘導
- ◎逃げ遅れ者等の情報収集
- ◎現場での広報および鎮火後の警戒活動



12月3日に開催された新人研修の様子

新人研修参加者のリアルボイス



第47分団(中島校区)
ふるかわ く に こ
古川 久仁子さん(54歳)

こども食堂と消防団の 連携で社会的弱者を守る

熊本地震を経験し「地域で困っている人は一人も取りこぼしたくない」と感じて、仲間と共に第47分団初の女性団員となりました。また、2年前には独居高齢者も利用できる子ども食堂を開設し、コミュニティの把握に努めてきました。今後は地域の行事に参加することで、私たちの活動を知ってもらい地域防災の一助となる存在になりたいです。



第57分団(田迎南校区)
まつなが かずたか
松永 和孝さん(34歳)

PTA、自治会、民生員。 力を合わせて防災力を強化

認定子ども園の園長として「子育て」という視点で地域とつながってきましたが、新たに消防団という側面ができ地元がもっと好きになりました。田迎南校区は転入してきた若手世代による自治会もあります。いろんな横軸が交流することで大きな「面」となり、地域の安心を構築していけるようにがんばります。